



スピード長根ファイナル開幕

「YS CUP 長根ファイナルスピードスケート競技会」（県スケート連盟主催）が2日、八戸市のYSアリーナ八戸（開業した。初日は男女3種目ずつ行い、県勢は女子5000

上野（八学大）連覇

女子5000

0位で上野恵理子（八戸学院大）が県新記録となる7分24秒09で優勝し、2連覇を達成。近藤香菜（同）が7分51秒47で7位に入った。同5000位では金井愛未（同）が40秒25で4位だった。同1500位は根城理実（八戸西高）が2分6秒81で6位、大岩未奈美（プライフーズ）が7位、下村璃々（八戸西高出、高崎健大）が8位となった。（野上圭佑）

男子は1500位の山本大史（県競技力対策本部）が1分50秒02で7位となったのが最高だった。最終日の3日は男子3種目、女子2種目を行う。

集大成 監督超え県新

【女子5000位】7分24秒09で優勝し、2連覇を達成した上野（八戸学院大）はYSアリーナ八戸

女子5000位で7分24秒09をマークし、県記録を塗り替えて2連覇を達成した上野（八戸学院大）。これまで立ちほだかったその記録は、大学で指導を受ける船場亜希監督が1998年に樹立したものだ。「1年生の時から監督に勝ちたい」とずっと思ってきたので、今回ようやく勝ててうれしい」と万感の表情を見せた。
今季、大学卒業を機に引退を決めている上野。「先のこと考えずに目の前のレースだけに集中できたことも結果につながったのかも。友達も来てくれたし、船場監督も泣いて喜んでくれた」とうれしそうに語った。
次戦は3日の3000位。「1年生の時から4分20秒を切ることを目標に掲げてきたが切れずにここまでできたので、最後に切って、人生で一番いいレースにできれば」と話した。（野上圭佑）

金井（八学大）4位 女子500 自己新



【女子500位】40秒25の自己ベストをマークし、4位に入った金井（八戸学院大）

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです